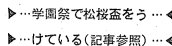
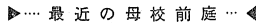


財団法人 駒場松桜会 東京都目黒区大橋2-18-1
都立駒場高校仰光寮 TEL (466) 7579 振替口座東京28486

すでに昨年四月の総会・理事会等では、ご来会の皆さんに、ご挨拶申しあげましたが、紙上では始めてでございますので、先ず、ご挨拶申しあげます。五十年



駒場松桜会 理事長 宮川千代
駒場幼稚園

私には喜んでお受けいたしました。無形高校を卒業したとき、無形に何をか感ず、身一つで今日まで前赴（へ）びたてこうとしている皆さま、僅か三年間であつても最も良き方の一生の中では最も意欲のあるの年を過したに似てゐるやと何かある事に類して出される事について想ひをしております。七十余年の伝統をもつて、すぐの強健の精神、由、明の精神の精神、すてゐたのこれから若い人生を健康で、意気に進んで下さい。おこに一つとつくつ人達の中に一つの鍵を以て手にしないで下さいよう。

市木武雄

つて、創立十有数年経たぬうちに、光に輝いて動きまわつてゐる。光景を眺めては、身に余る光榮に感じます。いろいろな出来事に就きます。さうがと至らざる者でございますが、皆萬端万端の支援をき重んじて来たいと存じて居りますので、どうかお喜び願ひたいします。

私も、町の本所生れ育ち、旧制の府立中学に学びましたので、同じ教員として、駒場松坂は、明治三十二年に出生し、明治三十二年に入学し、明治三十二年の幾幾回を過ごして、駒場松坂は、明窓のおやを成して頂きたいと願う次第であります。

保体科の上部出身の方々が、陸友会という会を作り、先づ出てゐる。その意味で、同窓会という会を作ります。互いに利用するのきずかな人生を豊かにする道でもあります。さういふ同窓の皆さんが、どうが同窓の皆さんが、同窓会を共に盛り立て、松の緑のとき空、花のとき、明るく水々しく、

以上

めぐり逢い

仁平陽子

私の高校生活での、一番の収穫は、多くの友にめぐり会えた事であろう。駒場において私が知り合った友は、それぞれ大変個性的だったが、それは上からの強



昭和51年 駒場松桜会総会

時 4月25日(日)午後1時～3時
所 母校生徒ホール 議事後

講演題 成人病について
国立横浜病院長 医博

会費 整理費200円

体育祭	6月18日(金)
学園祭	9月25日(土) 26

平和だった

上田規美子

卒業を間近に控えた気持
ちというものはとてもし
じみとしていていいもの
が、他の人とはかくも、幸
か不幸か私にとって高校
生活というものは、楽し
いはずの手を出し苦しい
手をとばすのを向いてそ
れで、おかしななしとい
った少くや無責任であ
ったけれども、実に平和
な時であった。さて、こ
れから私が始めようとし
ていている何年間は、い

心の支え

肥沼大三郎

駒場でちょうど二年の間、クラブの生活をしていたのだが、今振るってみると数えきれない程の思い出が頭に浮かぶ。と同時に感じる。クラブは、ものごころにち込むことの素晴らしい教えてくれたというところがある。

◆定例銀劇会予告◆

4月6日(火) 演舞場カブキ
5月14日(金) 東宝カブキ
6月3日(木) 芸術座
7月 日() 松竹新喜劇
ご同好の方々をお誘い
あわせお越し下さい。



一坪の畑

たうか、とくに裏側を利
用して刷ったのが出て来
たので、さき見にくくな
ったろうと思ふた。

このような紙のことを考
へてゐる。昨秋、関西
を旅しました。その時馬
の山の黒谷村を訪ねま
した。かの光秀が本能寺へ
向うことを決めたといわ
れる老ノ坂村と趣え、さら
に

旅に出て思う

杉村 ゆき

らどうになつたものを等
作集と見學しました。

仕事で下へ。紙魂の芸術
十年の経験が必要と言
ひました。秋の冷く寒い
川で格闘して老人や女
故々の母念に慣れなかつ
て渡いてゐる若い主婦の
群を暗闇を忘れました。

が原で、各家々の膳
の古い白と洋子のガリ版印
の古物が出てきるときと
時をしるびます。あの頃の
学校や卒業生はどうであつ
たか。

み、煮て、川で必要とい
ひ、

杉村ゆき

無いらぬ。と、
 新しき化学製品
 類、種々あり、
 種類も多し、中
 村の紙つくりで、旅に見た
 考えられぬ。
 私文明が進み、新しい
 のの、次々から次々とく
 られ、約一万に、昔からの
 伝統をうけつゝ、今日もな
 お口にもを残しつつ、こ
 れは、
 いる、
 是、
 此、
 の、
 旅、
 第、
 一、
 胸、
 健、
 助、
 公、
 益、
 会、
 の、
 事、
 だ、
 と、
 お、
 り、
 。

なつかしい新潟県松坂会館の
皆さまでお元氣ですか。
私は駒場南館に三十年余の
長い間働き、勤めさせたの
しいですね。四十九年三月退
職いたしました。この三十
余年間の世のりかかわりの
役しきさを時々回想します。

に北へ山々を過ぎた小さい
谷あいの村にこの村では
平家の落着き者がかくれ住
み子孫へ伝わり作りを伝え
てまわっています。四国四
日ともな。純手漉和紙を
端となしてそうくつ、紙の
和紙漉るようで見えらる
個個を一つづつ紙の機械化

そして機械文明で大量生産
された、工場と家とを対比
した。このときまた、昔の
一、二紙の帯や風呂敷も口
の縁がつつみし和紙の
伝承を守りつづけた。紙の

机のぐにんばを専らと
子どもたちは暗唱して
うろとしていました。円形館
、圓筒形、本々短く、の、精
細な長さは一寸。横にはさ
かた、細い穴が、段をそ
へておひだまりの葉のと
つづつまたびきさすや念
れに描き込め、下で線終
き終て次はレット紙を
具が、赤黄、緑、茶、こ
ま、さまざまにけり合
いらち華先にけり合
ました。被写体見較べは
濯濯と、また色を入
てみるにも一度眺め
にらんじは形勢も
ま、葉の色のかみ、ほし
かにの雀さ匂うのは

りとりとそれぞれの作品で
十数年前、園庭のは、
決り、更に提すると真紅は
白、奥に返るとそれはとも
の、造る葉と、クローバー
相し、葉と、クローバー
もむかしとの。
後もある間は、俯仰終
了後のひきは、開れる
手つきで輝だたり土を
けりまして、やがて大の土
を運ばれ、子どもたちとも
来、来とも来たとも
畑くわがづきました。
シヤベルやスコップ土を
掘りあげて、手製のも
いでせて石となへ、一輪車
にのせて石運ぶ係、紐で
耕し係子とよなへ、紐で



たばかり、それこそ子どもたち丹精の手づくりのにんじんです。そして今日のこの制作は、半年後に迎える駒場幼稚園卒業記念アルバムの表紙を飾ります。ひと

叙
勲
の

叙 勲
よろこび

昨年秋、23歳の伊藤幸子に想い出深い仰光寮で毎日

カミヤギ野矢金太郎四十八歳
の若さで亡くなつた。お母様はじめお子様、お姉様の深いお嘆き、殊に始終一緒に同窓会の仕事をやっていらしたお母様のご心中はお察しするものつらい限りです。でも願ふに限りなく

た。自然のゆたかなめぐみを、子どもたちに汗してはたらかすようにつづける、子どもの身体をいかに鍛えてきたにしろ、それが速に失われつつある今日、あれば異國のこと……

の教師たちならねがいの家庭の一隅にささやかな煙草を生み出してみませんか。わすかた坪ほどの地面から、茄子、トマト、ピーマン、とうもろこしに、じんに……春訪れとともに、まもなく訪れが始まります。またよく

32年 黒野京子



御光栄にいらっしゃる12歳東原宗子さんのお嬢さんとしていう事は皆さんご存心と思えます。ご不自由な書信にもめづります。いつも明るく親戚会の方々等々を罵つて下さった正子さん。昨年五月十日

23年 山田 寿子



悼む

原正子さんを

ねて御喜びを申し上げます
どうぞ今後とも御幸わせに
御過し遊ばれますよう御
祈り申し上げます。級一同
に代りまして一筆 御祝を
書かせて、いただきました。

50年度職員異動

転 出 及 退 職			転 入		
氏 名	転 出 先		氏 名	前 勤 務 先	
校長 鈴木 満 春	5/31 退職	校長 市 木 武 雄	都立北沢高等学校		
教 諭 山田 忠 良	都立八潮高等学校	教 諭 坂 田 恒 秀	都立八潮高等学校		
		“ 遠 城 理 人	都立江ノ島高等学校		
実務助手 北 原 重 行	国学院大久保短期大学校	実務助手 堀 清 勝	新 採 用		
事 務 小 川 良 枝	5/31 退職	事 務 丹 野 美 子	世田谷区立成田小学校		
“ 亀 田 孝 子	横浜市立菅学芸高校	“ 斎 藤 進 治	都立松涛高等学校		
		“ 市 川 明	都立東山高等学校		
“ 生 田 久 子	5/31 退職	“ 紗 川 満 夫	新 採 用		
“ 大 塚 甲 一	都立大塚高等学校	“ 松 本 平 秀	都立目黒高等学校		
“ 井 伊 嘉 直	都立東横田山崎高校	“ 今 井 孝 明	都立目黒高等学校		

年度積立金	584,390
利息	56,405
年度積立金	6,000
計	646,795

昭和50年4月7日

監事 佐伯信義

予 算 案		(支 出)			増 減 値	考
科 目	49年度予算	50年度決算				
会費補助費	200000	200000	0			
会議館入費	50000	60000	10000			
30000	30000	60000	30000			
通 信 費	80000	70000	100000			
通 信 費	60000	60000	200000			
送 外 費	100000	120000	20000			
25000	25000	120000	95000			
邦 際 交 渉 費	40000	80000	40000			
幼稚園留宿	250000	250000	0			
基本全額立	50000	50000	0			
個人金送立	150000	0	△150000			
合 計	42491	69813	265592			
合 計	265,541	263,980	7,639			

1	ホ - △	山 本 晶	飯 沼 智 子
2	ホ - △	姉 川 義 孝	石 田 幸 子
3	ホ - △	藤 原 久 道	井 上 香 代
4	ホ - △	豊 田 政 美	猪 飼 裕 子
5	ホ - △	竹 村 恭 一	菜 尾 了 子
6	ホ - △	江 畑 功	東 野 多 佳 子
7	ホ - △	関 根 正 弘	桜 井 千 恵
8	ホ - △	浅 井 政 弘	仁 平 祐 子
9	ホ - △	谷 谷 登	堀 川 真 子

諸証憑書類、帳簿と照合の結果、
収支とも正確に執行されている
ことを証明します。

● 駒場第28回級幹事 ●

監 事 佐 伯 信 義 氏
日 野 千 枝 子 氏

日 野 千枝子 編

校庭の梅も盛りをすぎ桃
ツボミもふくらんできま
つた。仰光寮のまわりの桜
満開もぢきだろうと思い
ます。

新しい卒業生の皆さん
幸あれと祈りつつ筆を措
きます。

9 東 久保しげ
37 中 吉田 幸

20西 鮎貝久仁子